Model Course ⑲

明神山から亀の瀬

【葛城第二十八経塚(亀の尾宿・明神山)】

**二十八宿最後の経塚へ
金剛葛城を一望する明神山から
大和川に浮かぶ亀石へ**

紀淡海峡友ヶ島に始まる葛城二十八宿は、大和川に浮かぶ亀石を拝して終わる。亀の尾宿にある亀石と、大和川南岸の明神山が葛城第二十八経塚とされる。

関屋駅から西へ向かい、まずは矢除身替観音で知られる観音寺へ。楠木正成の胸を貫いたと思われた矢が、ふところに入れた観音経にささって正成は無事だったと伝わる観音である。境内には立派な役行者像があり、裏山には行場の三輪神社がある。寺を辞して民家の間を西に抜け突き当りを右、トンネルを抜けたところの左手に明神山への登山口がある。ひと息で尾根に上がって快適な尾根道を北へ。行場の関屋地蔵まで来たら方角を東に変える。多少アップダウンはあるが、こちらも尾根通しの道で時折展望も開ける。途中で一度方向転換するので、道標を見落とさないよう注意しておこう。少し下ると明神山の周遊路に出て東屋がある。東屋の横から直登すると、展望デッキの設けられた明神山頂上で、その中心に水神社がある。ここを二十八経塚とする説もある。南には金剛葛城の峰々が、北には信貴山がすぐそこに見える。

山頂から東の登山道は舗装路で、途中石標のある送迎峠で古道を左に見送り、藤井ルートの分岐で藤井ルートに入る。下り切って右、西蓮寺の前を通って国道に出る。少し東にある大正橋を渡って北岸に出て、峠八幡神社経由で、亀の瀬へ。地すべり資料室の先で左に大きくカーブし、道路を外れて龍王社に行こう。亀石は、新亀の瀬橋の少し下流に横たわっている。

龍王社を拝したら、亀石を横に見て、北岸に通る道を進んで河内堅上駅へと向かおう。

歩行距離	約10km
歩行時間	3時間
体力レベル	☆☆★
登山レベル	☆☆★

コースタイム

START 近鉄大阪線関屋駅
↓10分
観音寺
↓20分
関屋地蔵
↓1時間
葛城第二十八経塚(明神山)
↓15分
藤井ルート分岐
↓25分
大正橋
↓30分
龍王社
↓20分
GOAL JR関西本線河内堅上駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行の道とは異なります。

コース情報

役行者像がある矢除身替観音寺。三輪神社はその奥

明神山山頂。手軽な山だけにハイカーの姿が絶えない

明神山への尾根道は時折展望が開けて快適に歩ける

大和川の中にある亀石。第二十八経塚とされる

アクセス

往路
近鉄大阪線関屋駅

復路
JR関西本線河内堅上駅

アドバイス

標高は低いが登山になるのでトレッキングシューズの方が望ましい。明神山登山口は特に道標はないが、「火の用心19」の看板が目印になる。明神山から亀の瀬へは、送迎峠から古道のひるめ越道を下ると近いが、私有地があるので通れない。ちなみに明神山は元旦の初日の出登山でも人気がある。